

児童心理司(基礎) II

日 程

10月8日(水)・16日(木)【2日間】

対 象

(1) 児童心理司

(2) 心理職として採用された職員【定員80名】

ねらい

児童心理司として求められる役割を理解するとともに、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。

場 所

特別区職員研修所（千代田区九段北1-1-4 東京区政会館別館）

カリキュラム



10月	教科目・内容・講師名（敬称略）
8日 (水)	9:00~17:00 性被害・性加害児童、非行相談への対応 子どもたちが生い立ちのなかで受ける虐待や性的な被害等による影響を理解し、性的な行動化のアセスメント及び対応について学びます。 【講師】国立武蔵野学院 研修課長 藤澤 陽子
16日 (木)	9:00~17:00 WISC-Vを活用した子どものアセスメント それぞれの指標の意味とその結果のスコアからどのような特性が考えられるのかを理解するとともに、行動観察や日常での様子と重ね合わせた支援につながる活かし方を学びます。 ※実技講習会ではありませんのでご注意ください。 【講師】鎌倉女子大学 児童学部 子ども心理学科 講師 吉村 拓馬
計	14時間（2日間）